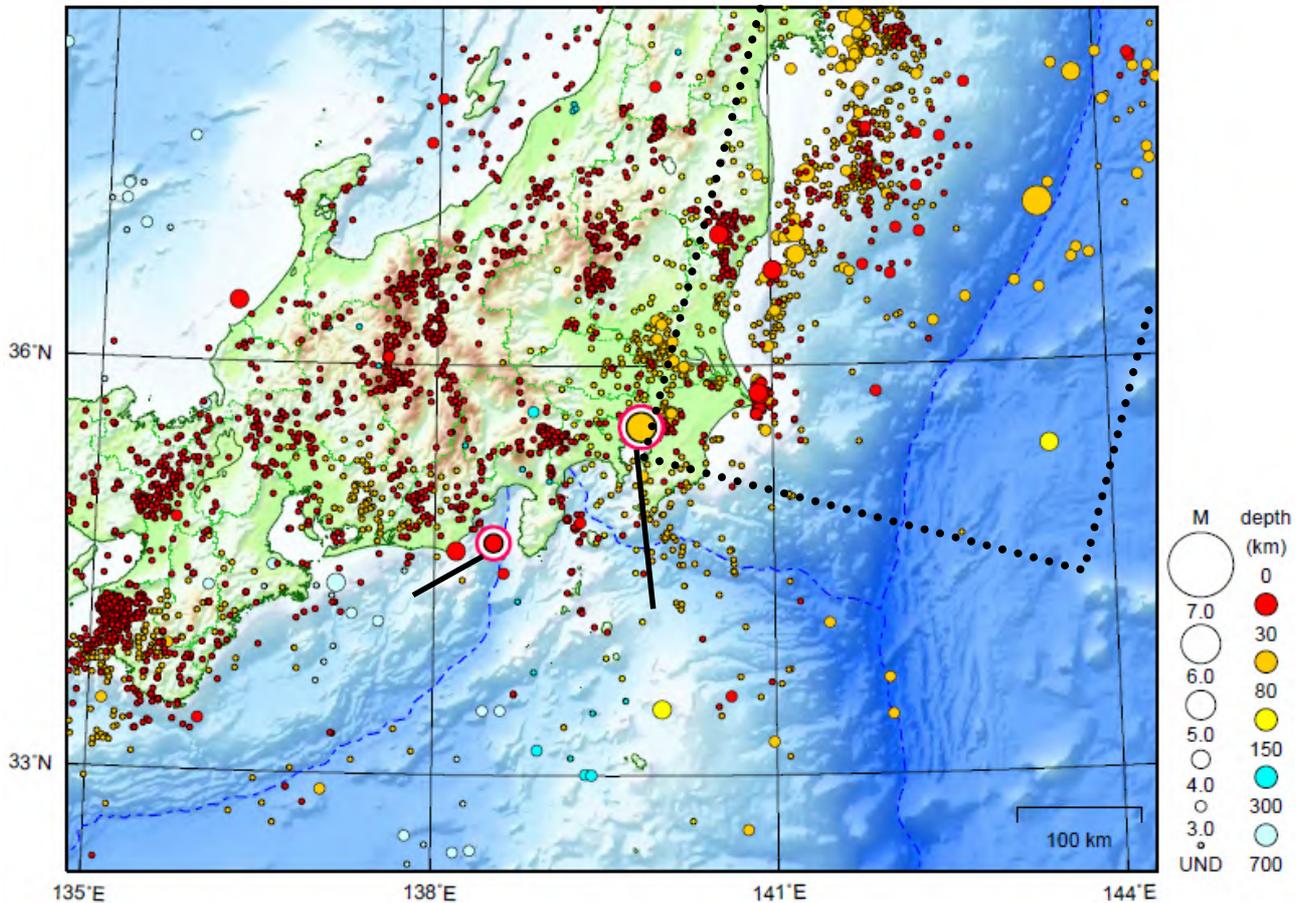


関東・中部地方

2015/09/01 00:00 ~ 2015/09/30 24:00

N=3964



点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

9 月 8 日に駿河湾で M4.6 の地震（最大震度 3）が発生した。

9 月 12 日に東京湾で M5.2 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

（上記範囲外）

・ 9 月 2 日に鳥島近海で M6.1 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

9月2日 鳥島近海の地震

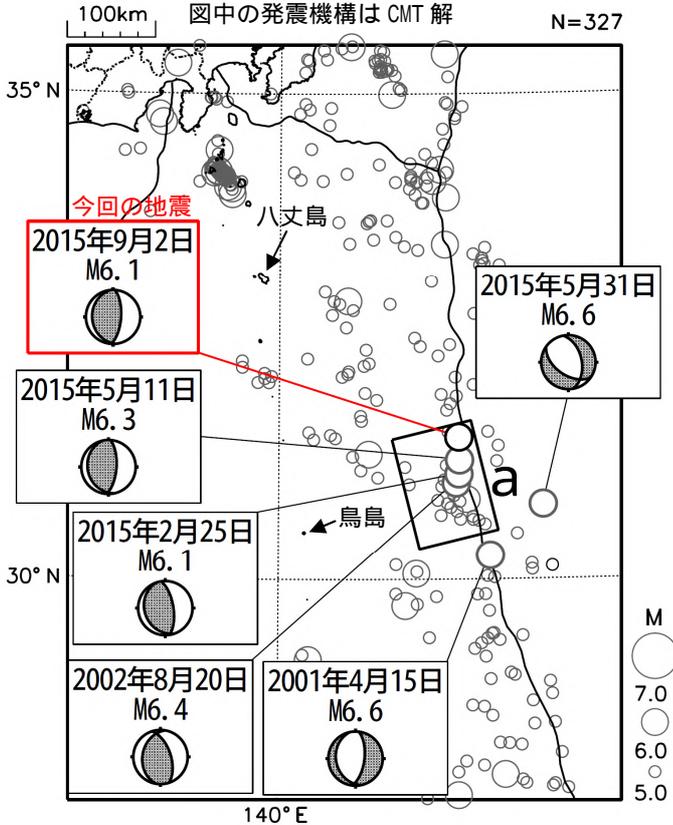
震央分布図

(1997年10月1日～2015年9月30日、
深さ0～100km、M 5.0)

2015年9月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

N=327



2015年9月2日00時25分に鳥島近海でM6.1の地震(震度1以上を観測した地点はなし)が発生した。発震機構(CMT解)は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

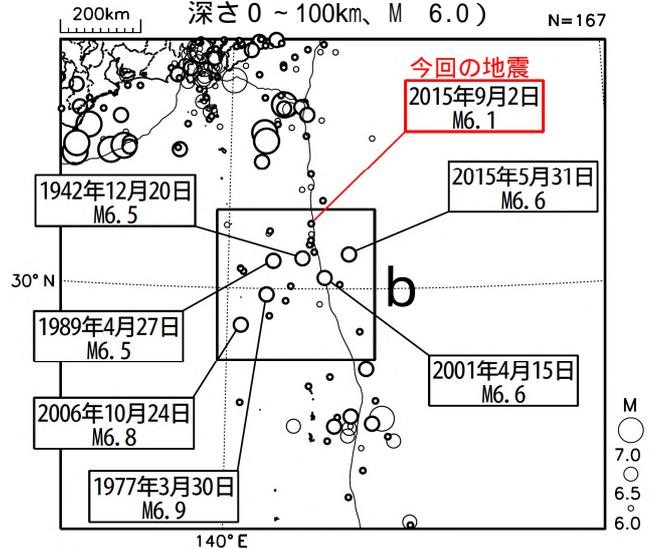
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が5回(今回の地震を含む)発生している。2014年12月頃から地震活動がやや活発になっており、2015年2月25日にはM6.1の地震、5月11日にはM6.3の地震が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、被害を伴う地震は発生していない。1977年3月30日にはM6.9の地震が発生している。また、2006年10月24日の地震(M6.8、最大震度2)では三宅島で16cmの津波を観測した。

震央分布図

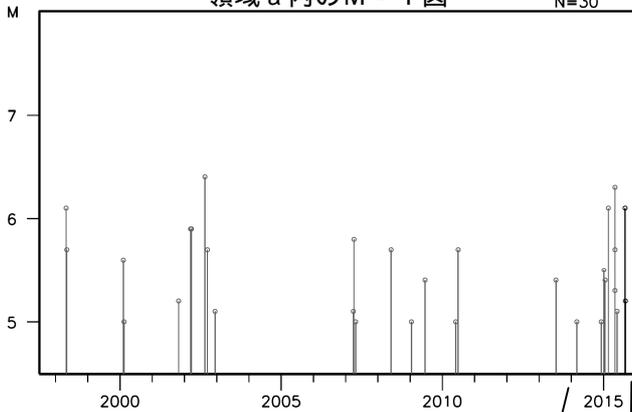
(1923年1月1日～2015年9月30日、
深さ0～100km、M 6.0)

N=167



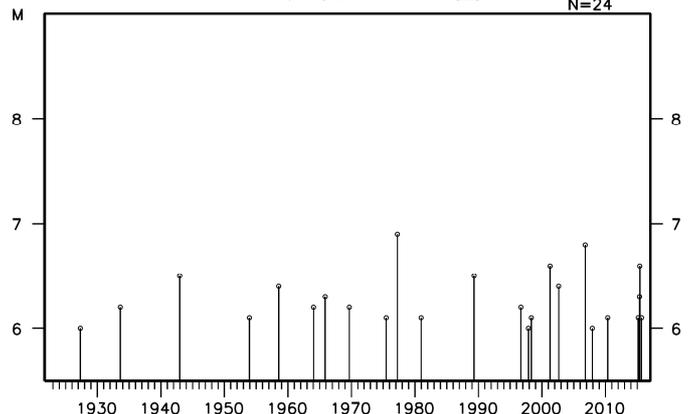
領域a内のM-T図

N=30



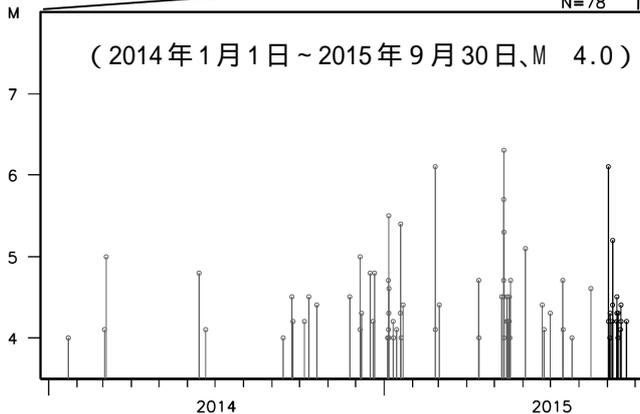
領域b内のM-T図

N=24



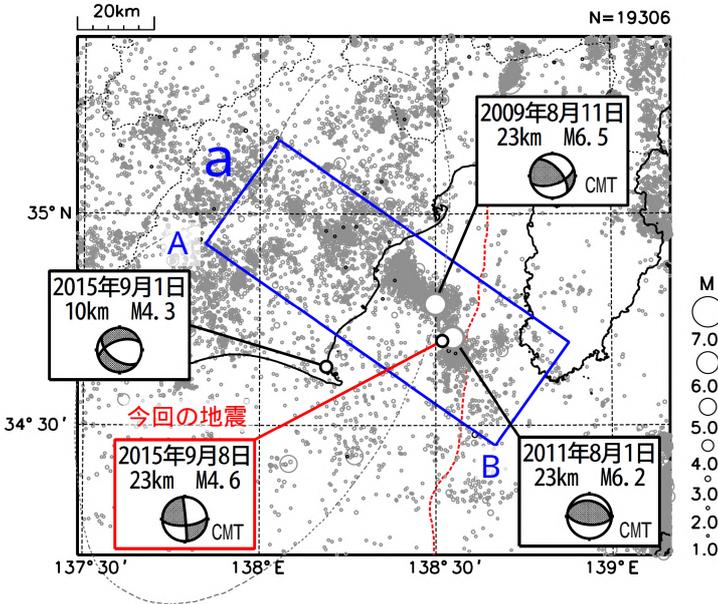
(2014年1月1日～2015年9月30日、M 4.0)

N=78



9月8日 駿河湾の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年9月30日、
深さ0～50km、M 1.0)
2015年9月以降の地震を濃く表示
破線は東海地震の想定震源域を示す

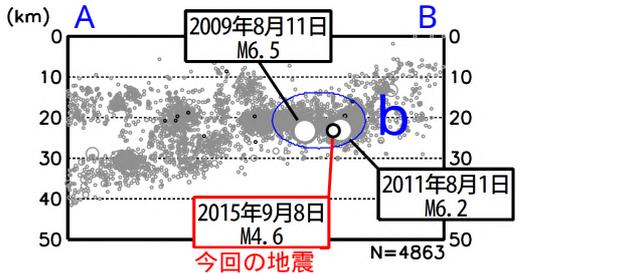


2015年9月8日20時22分に駿河湾の深さ23kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

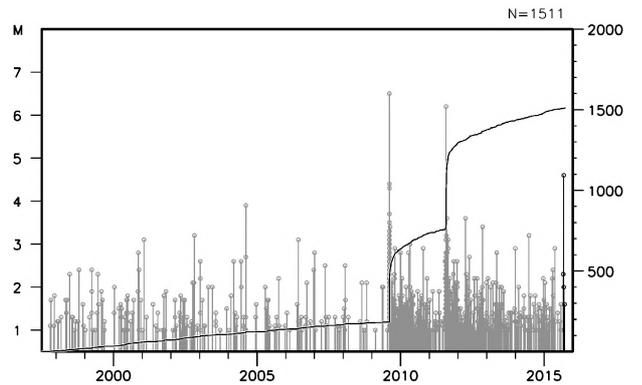
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が2回発生している。2009年8月11日に発生したM6.5の地震(最大震度6弱)では、死者1人、負傷者319人等の被害を生じた(総務省消防庁による)。また、2011年8月1日には、今回の地震とほぼ同じ場所でM6.2の地震(最大震度5弱)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1974年5月9日には「1974年伊豆半島沖地震」が発生し、死者30人、家屋全壊134棟などの被害を生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

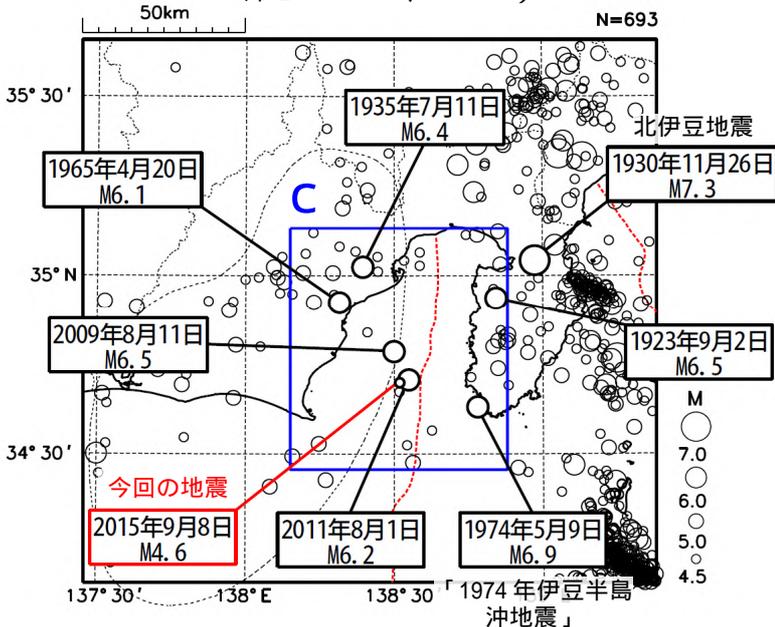
領域a内の断面図 (A - B 投影)



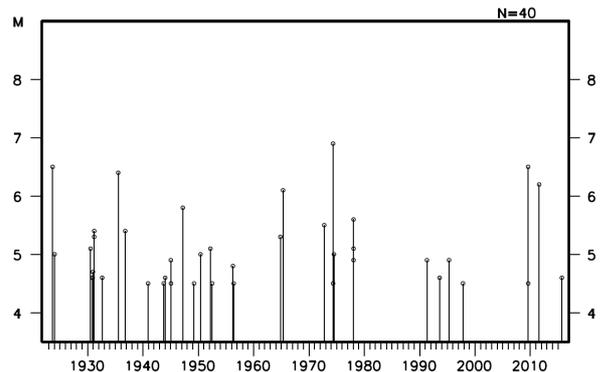
領域b内のM - T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2015年9月30日、
深さ0～60km、M 4.5)



領域c内のM - T図

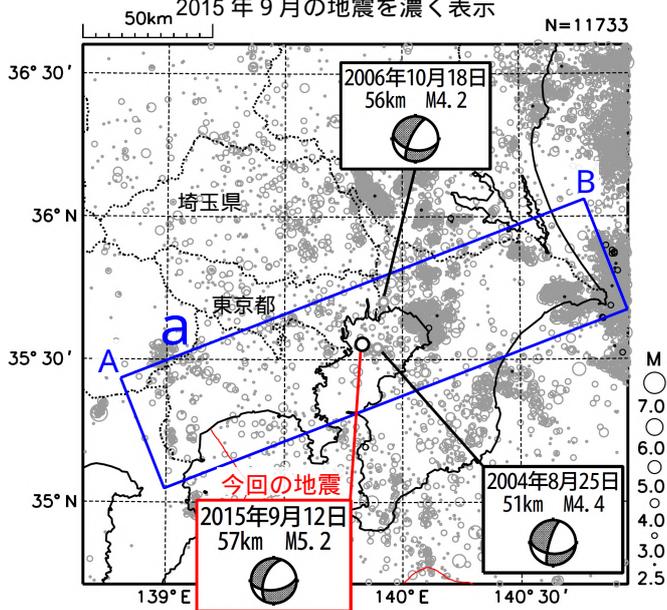


9月12日 東京湾の地震

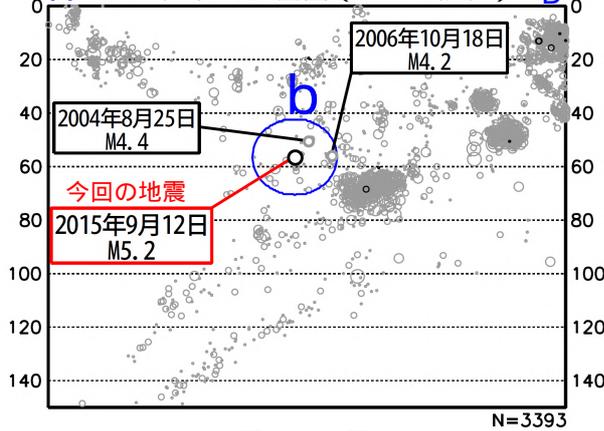
震央分布図

(1997年10月1日~2015年9月30日、
深さ0~100km、M 2.5)

2015年9月の地震を濃く表示



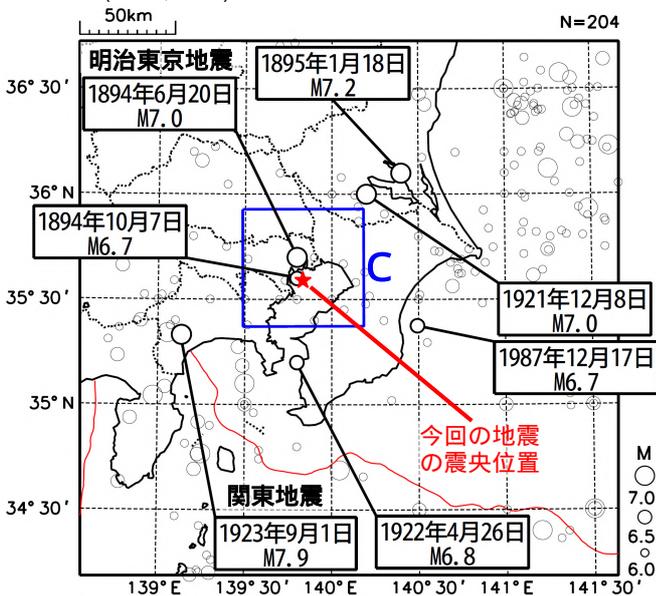
(km) 領域a内の断面図 (A - B 投影)



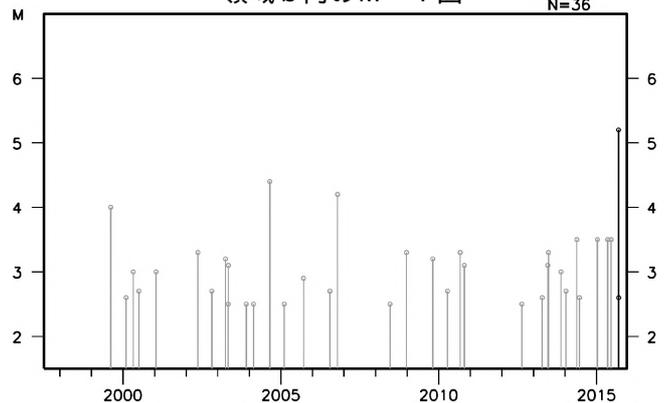
震央分布図

(1885年1月1日~2015年9月30日、
深さ0~150km、M 6.0)

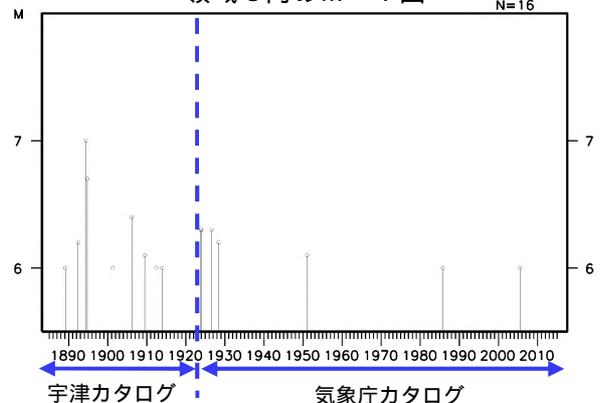
震源要素は、1885年~1922年は茅野・宇津(2001)、
宇津(1982, 1985)による。



領域b内のM - T 図



領域c内のM - T 図



宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表:
1885年~1980年, 震研彙報, 56, 401-463, 1982.

宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表:
1885年~1980年(訂正と追加), 震研彙報, 60, 439-642, 1985.

茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」
第2版, 朝倉書店, 2001, 657pp.